

くすやま美紀(樟山みき)活動報告



2018. 7. 12 NO. 225

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170
区議会控室 3312-2111(内)2319

西日本 豪雨災害

被災地支援に総力を

救援、復旧は最優先課題 賭博法優先は許されない

西日本をおそった記録的大雨による深刻な被害が拡大しています。11日現在、亡くなられた方は13府県で169人、行方不明や連絡を取れない方は79人と発表されています。犠牲となった方々に心からの悔やみを申し上げるとともに、被害にあわれた方々にお見舞いを申し上げます。

日本共産党は、小池晃書記局長を本部長とする対策本部を立ち上げ、現地に国会議員を派遣し、地元の党組織や議員と協力して、被災者の救援・支援に全力をあげています。



10日夕方、荻窪駅北口

いま、政治が最優先で取り組むべきは、豪雨災害への対応です。

ところが、安倍内閣と自民、公明、維新は、カジノ実施法案の参院内閣委員会での審議入りを強行。救援・支援で一刻も早い対応が必要な時に、こともあろうに賭博解禁の議論を国会で強引に行うなど全く異常です。

被災地では、多くの方が避難を余儀なくされ、助けを待っています。

日本共産党区議団は、10日夕方、荻窪駅北口で地域の党支部とともに、救援募金活動に取り組みました。「少ないですが、頑張ってください」と子どもや買い物途中の人、タクシートの運転手さんなどが次々呼びかけにこたえ、1時間で5万1811円の募金が寄せられました。



党区議団 救援募金訴え

日本共産党は、被災者救援のための募金を受け付けています

募金は、下記の郵便振替口座にご送金ください。

▼口座番号

00170-9-140321

▼加入者氏名

日本共産党災害募金係

※通信欄に「豪雨災害救援募金」と記入して下さい。手数料はご負担願います。

ブロック塀の安全対策早急に 大阪北部地震を受け、党区議団が杉並区に申し入れ



11日、危機管理室長に申し入れ

6月18日に発生した大阪北部地震で、高槻市の小学校のブロック塀が倒壊し、9歳の女児が死亡する痛ましい事故が発生しました。今回の事故を受け、文科省は都道府県を通じ、学校の安全点検等を行うよう各自治体に調査を依頼しました。

区が緊急点検実施

杉並区教育委員会は、全小中学校、子供園のブロック塀の緊急点検を実施。その結果、小学校5校、中学校5校、子供園1園のブロック塀に不適合箇所があることがわかりました。

申し入れの内容

1. すでに行っている区立施設等の安全点検について、結果の詳細及び対策内容、対策スケジュールなどをすみやかに公表すること。
2. 東京都と連携し、私立学校のブロック塀をはじめとする工作物の安全点検がすみやかに行えるよう、必要な情報提供や技術的支援などを行うこと。
3. 通学路、避難路などに面した民有地の安全点検を区の責任で実施し、学校及び近隣住民へ情報提供を行うこと。違法状態のブロック塀などがある場合は所有者に早急な改善を求めるとともに、安全確保の対策を講じること。
4. 区内建物所有者などに対し、安全基準の周知や安全で軽いフェンス・生け垣などへの転換等の支援を行うこと。

区民、子どもを守る区政へ全力

点検結果を受け、党区議団は所管課長から聞き取りを実施。それによると、ブロック塀の転倒を防ぐため、建築基準法施行令では、ブロック塀の高さが1.2メートルを超える場合、3.4メートル以下の間隔で控え壁を設置することとしています。控え壁が無い箇所や間隔が3.4メートルを超えている箇所が確認されたとのこと。直ちにブロック塀が転倒するような危険性は無いとしながら、安全性を確保するため補強等を行うとともに、今後メッシュフェンス等へ改修を行っていくとの認識を示しました。

都が行った首都直下地震の被害想定（2012年）では、ブロック塀倒壊による死者を約100人、負傷者を3500人としています。

杉並区は小中学校及び子供園などのブロック塀を緊急点検し、必要な対応を行うとしましたが、点検などは区立施設、保育施設等にとどまっております。さらなる対応が必要です。

党区議団は、11日、杉並区に対し、右記の申し入れを行いました。対応した危機管理室長は、「申し入れ内容を検討し、対応する」と応えました。区民の安全確保に全力をあげます。

※控え壁（ひかえかべ）とは
ブロック塀を安定させるために、壁から直角に突き出して設けられた補強壁のこと。